

2023年7月21日

**2023年度「二国間クレジット制度(JCM)等を活用した低炭素技術普及促進事業/****低炭素技術による市場創出促進事業(実証前調査)」****(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)への企画提案が採択されました**

2023年7月18日(火)、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下「NEDO」)が募集する2023年度「二国間クレジット制度(JCM)等を活用した低炭素技術普及促進事業/低炭素技術による市場創出促進事業(実証前調査)」において、当社が企画提案した「未利用エネルギー有効活用のための全樹脂製熱交換器 G-HEX を利用した廃水熱回収技術および地中熱利用技術導入温室効果ガス削減実証事業(ベトナム)」が採択されました。

「二国間クレジット制度 (Joint Crediting Mechanism)」(以下、JCM)とは、日本の優れた低炭素技術・システム等を発展途上国などに提供することで、途上国の温室効果ガスの削減など持続可能な開発に貢献し、その成果を二国間で分け合う制度です。本事業の目的は、当該技術・システム等による温室効果ガス排出削減・吸収量を定量化し、JCM クレジット化を目指すこと、また並行して相手国の政策連携や制度整備を国と NEDO 及び技術を保有する事業者が連携して取り組むこと等により、当該技術・システム等の普及拡大を図り、もって世界全体の温室効果ガス排出削減に繋げ、パリ協定達成に貢献することを目指すものです。

今回当社が提案しました「未利用エネルギー有効活用のための全樹脂製熱交換器 G-HEX を利用した廃水熱回収技術および地中熱利用技術導入温室効果ガス削減実証事業(ベトナム)」は、「全樹脂製熱交換器 G-HEX」を利用し、工場から排出される冷温熱および地中熱から得られるエネルギーを活用する技術です。「全樹脂製熱交換器 G-HEX」は、メンテナンスコストが低いと言われており、かつ既存の電力システムを利用するよりも高い省エネ効果が期待できる仕組みです。既にベトナムの食品工場にて実証実験を進めており、今後は導入コストの見直しを図りながら、多様な用途にも活用していくことを目指していきます。

当社は今後も、JCM を通じて、諸外国への保有技術の普及やコンサルティングなどの活動を推進し、世界的な環境問題や地球温暖化対策に取り組んでまいります。

参照：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 HP より

[https://www.nedo.go.jp/koubo/AT093\\_100210.html](https://www.nedo.go.jp/koubo/AT093_100210.html)

2023年度「二国間クレジット制度 (JCM) 等を活用した低炭素技術普及促進事業/低炭素技術による市場創出促進事業 (実証前調査)」に係る実施体制の決定について

以上

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング

TEL:03-5246-4150

URL: <https://www.atk-eng.jp/>

経営管理本部 吉田・太田